図書館だより

第４５号
2023年3月14日発行
姫路日ノ本短期大学図書館

まずは絵本から

図書館長　谷本　章三

近年、我が国では生活習慣の変化や様々なメディアの発達・普及などを背景として「読書離れ」「活字離れ」が指摘されています。学生の皆さんも最近は、本を読むことが少なくなったのではと思います。でも子どもの頃は、家庭や保育園、幼稚園で絵本の読み聞かせをしてもらって絵本に興味を持ち、だんだん自分でも絵本を読むようになって、今よりもっとたくさん本を読んでいたのではないでしょうか。日本の昔話をはじめ、世界の童話に対して「その話、知ってる、聞いたことがある」と思うのは、きっとそんな経験があったからです。絵本の読み聞かせには、子どもの成長につながる多くの効果があると言われています。子どもの心が安定したり、想像力が育まれたり、感情が豊かになったり、そのほか言語能力が高まったり集中力が上がるなどです。近い将来、皆さんのほとんどが保育の道に進んだり、そして子どもの親にもなります。今度は、読み聞かせをする側になるわけです。読み聞かせのコツの一つは、絵本を読む側が楽しんで読むことです。そのためにも、今のうちからいろいろな絵本に接しておくことが役に立ちます。本学の図書館にはたくさんの絵本があります。知らない絵本もいっぱいあると思います。どんな本でもよいのですが、原点に返って、この春休みの間にまずは一冊絵本を読んでみませんか。何か、新たな発見があるかもしれませんよ。もちろん卒業生の皆さんも。

○推薦図書○

図書館 司書

『つきをなくしたクマくん』　谷口友則 著　文渓社 2022.5　ISBN:978-4799904718

いつもひとりぼっちのクマくんは、春になる前に冬眠から目を覚ますと、胸にあったはずの月の模様がなくなり、びっくり。月を探しに出たクマくんが出会ったのは、同じく月のペンダントをなくした女の子でした。くすっと笑える理由で月を取り戻したクマくん。ひとりぼっちの毎日が女の子との交流で楽しい毎日に！心温まる絵本です。

（その他の推薦絵本・図書）

『でこちゃん』　つちだ のぶこ 著　PHP 研究所　2000.1　　ISBN: 456968209X

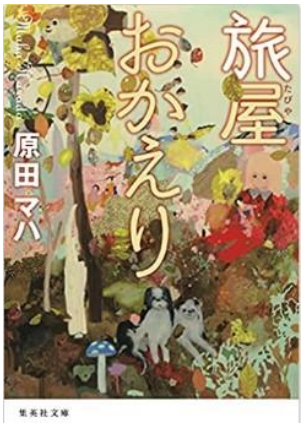
『かみなりどんがやってきた』 中川ひろたか 著 世界文化社　2014.7　ISBN: 4418148108

『0・1・2 歳児の発達と保育』　乳幼児の遊びと生活　乳幼児の発達と保育研究会 著
郁洋舎　　2022.4　ISBN：9784910467078

『3・4・5 歳児の発達と保育』　乳幼児の遊びと生活　乳幼児の発達と保育研究会 著
郁洋舎　　2022.4　ISBN：9784910467085

津田 敏 教授

『旅屋おかえり 』　　原田 マハ 著　集英社 文庫 2014.9　　ISBN:978-4087452259



あなたの旅、代行します!売れない崖っぷちアラサータレント“おかえり”こと丘えりか。スポンサーの名前を間違えて連呼したことが原因でテレビの旅番組を打ち切られた彼女が始めたのは、人の代わりに旅をする仕事だった―。満開の桜を求めて秋田県角館へ、依頼人の姪を探して愛媛県内子町へ。おかえりは行く先々で出会った人々を笑顔に変えていく。感涙必至の“旅”物語。

楯 佳子 教授

『この子はこの子のままでいいと思える本』　　佐々木正美　著

主婦の友社　　2020.7　　ISBN:978-4074433353

日本の児童精神科医学のパイオニアで半世紀以上にわたり、子どもの育ちを見続けながら子育て中の親たちに寄り添ってきた佐々木正美先生の著作です。「いい子だから、かわいがるのではありません。かわいがられるから、いい子になるのです」人間関係が失われ、孤独な親が増えたこの時代に、幸せな親子を増やしていきたい……。佐々木先生がいちばん伝えたかったことを、お母さんたちの悩み相談に答える形式で書かれています。保育を学ぶ学生をはじめ、子育てに悩むすべての人に届けたい一冊です。